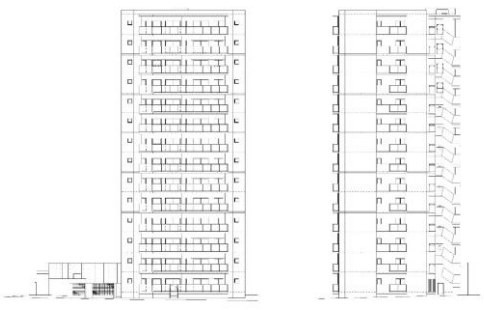


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)ムライチマンション 学園南	階数	地上14F		
建設地	熊本市中央区新大江一丁目14-1,14	構造	RC造		
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	112 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年8月19日		
敷地面積	1,461 m ²	作成者			
建築面積	364 m ²	確認日	2016年8月22日		
延床面積	2,753 m ²	確認者			

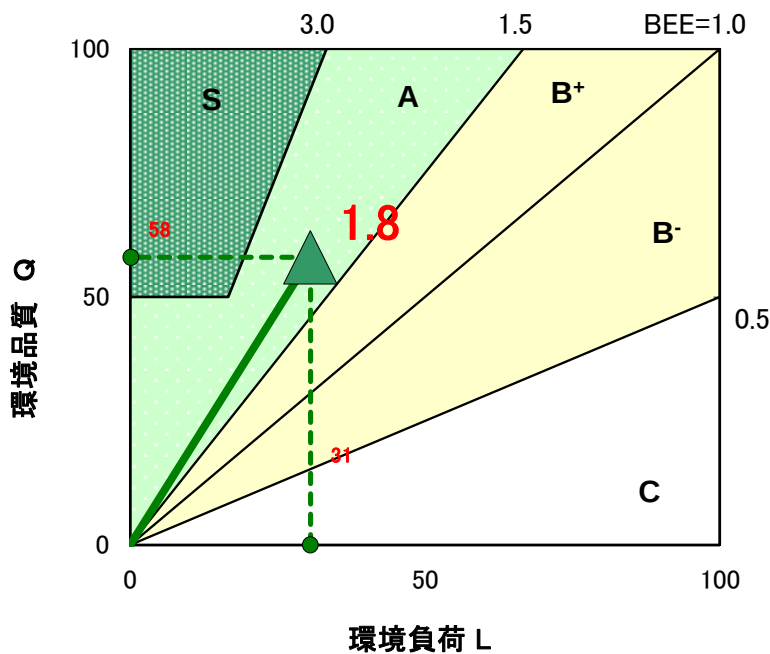
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.8

■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$



■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

73%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

85

評価点

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

98.1

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

68.7

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

75.0

【重点事項4】 循環型社会の実現

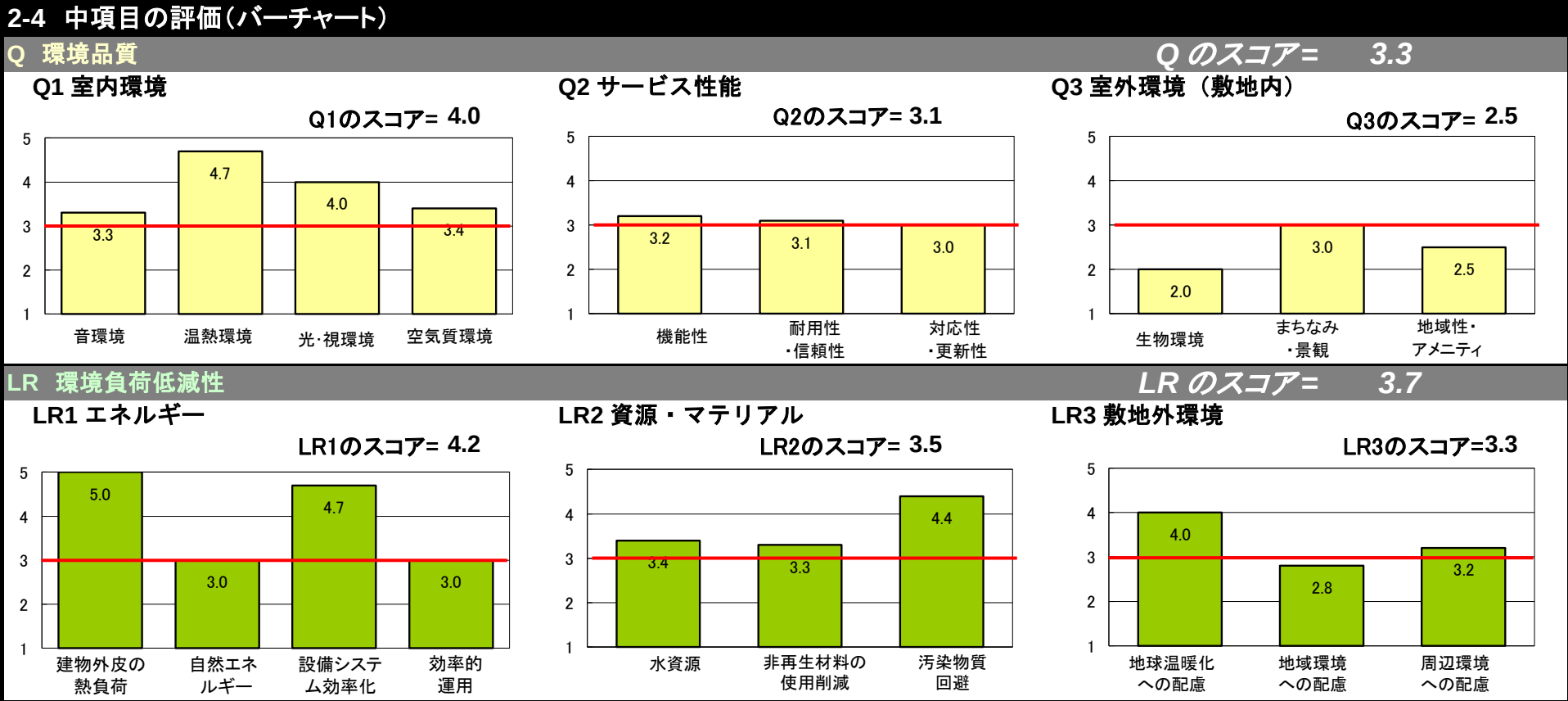
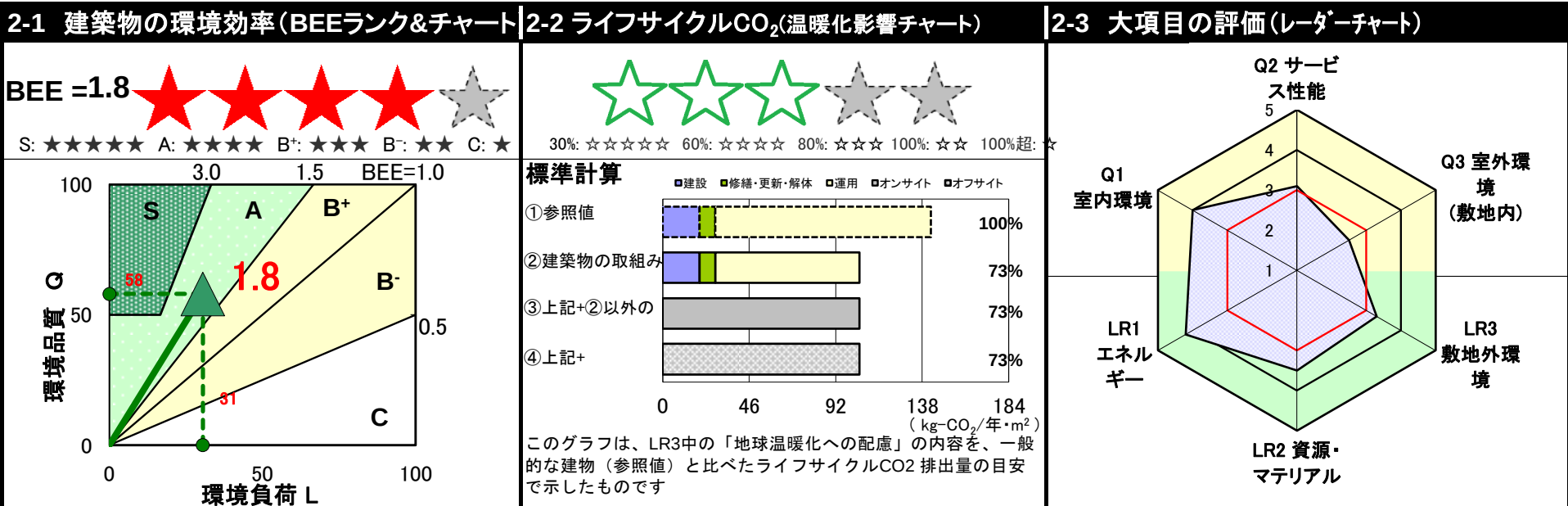
83.1

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ムライチマンション 学園南	階数	地上14F
建設地	熊本市中央区新大江一丁目14-1,1	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	112 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年8月19日
敷地面積	1,461 m ²	作成者	
建築面積	364 m ²	確認日	2016年8月22日
延床面積	2,753 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)ムライチマンション 学園南			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40		-	4.0
1 音環境		4.0	0.15	3.3	1.00	3.3
1.1 騒音	T-2以上採用	3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		5.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能		5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	5.0	1.00	4.7
2.1 室温制御	住居部は、等級4を満たす。	3.0	1.00	5.0	1.00	
1 室温		-	-	-	-	
2 外皮性能		3.0	1.00	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		-	-	-	-	
3 光・視環境		2.2	0.25	4.3	1.00	4.0
3.1 昼光利用	共用部3.5%、住居部3.22% Bタイプは、南面・東面に窓有り	4.2	0.30	4.6	0.50	
1 昼光率		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	住戸部は、カーテン及びバルコニーで昼光制御	1.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	住戸部は、カーテン及びバルコニーで昼光制御	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策	内部仕上げ材にF☆☆☆☆を採用	4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.3	0.40	3.2	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ	天井高さ2.63～2.73	3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理を考慮した仕上げ材を採用している。	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	管理室や用具庫等維持管理に配慮した計画となっている。	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震	耐用年数20年程度材料を使用	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数20年程度材料を使用	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩ビ管を採用し耐用年数B	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	耐用年数20年程度材料を使用	4.0	0.20	-	-	

	2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-		
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0	
	3.1 空間のゆとり		階高＝2.96m～3.06m	-	-	3.2	0.50		
	1	階高のゆとり		3.0	-	4.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-		
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.5	
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制			等級4に相当	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.93	4.7	0.50	-	-	4.7	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	-	-	-		
	集合住宅の評価(3c)		一次エネルギー省比率＝0.93	4.7	1.00	-	-		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-		
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水		節水コマ、節水便器を採用	4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3	
	2.1 材料使用量の削減		ー 給湯器、壁下地材スクリーUPACKIN、 吹付けウレタン断熱材＋スクリーUPACKIN SP-N53を採用	3.0	0.10	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.4	0.20	-	-	4.4	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		DDP＝0、GWP＝1	3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70	-	-		
	1	消火剤		-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)		5.0	1.00	-	-		
	3	冷媒		-	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率＝72%	4.0	0.33	-	-	4.0	
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8	
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
	2	污水处理負荷抑制		-	-	-	-		
	3	交通負荷抑制		3.0	0.50	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.50	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		「光害対策ガイドライン」の過半を満たし、広告照明無し	3.0	0.40	-	-		
	1	騒音		3.0	1.00	-	-		
	2	振動		-	-	-	-		
	3	悪臭		-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-		
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物を高層化し、周辺環境と調和した立面計画とした。空地を最大限確保し、緑地、平面駐車スペースとして景觀に寄与している。

Q1 室内環境

F☆☆☆☆の仕上げとし、シックハウス対策をしている。

Q2 サービス性能

水廻りスペースの通風を確保した間取りにより、結露、換気対策を考慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

道路に歩道空間を確保してアクセスに配慮、敷地外も含めて100%の平面駐車を確保した。

LR1 エネルギー

熱伝導率0.026の断熱材や、複層ガラスを採用し省エネルギー対策等級4相当としている。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器採用

LR3 敷地外環境

建物の高層化による空地の最大限の確保により都市的スケールのオープンスペースを創出している。
オープンスペースの積極的な緑化を計った。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)ムライチマンション 学園南

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		85
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				98.1	0.40	39.24
Q1-2.1.2	外皮性能	4.7	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.6	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				68.7	0.20	13.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				83.1	0.20	16.62
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.5	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数